


十一番札所『藤井寺』から裏山に入ると、谷に沿って苔むした遍路道が続く。次第に傾斜が急になり、眼下に吉野川北岸の街並みや、讃岐山脈が一望できる。長戸庵にさしかかるとなだらかな山道となり、山里の集落が小さく見える。起伏の少ない山道を進むと人里離れた所に柳水庵があり、冷たい谷水が喉を潤してくれる。ヒヨドリやメジロ等の小鳥の声以外何も聞こえない静かな山道が続ぎ、稜線を歩いて行くと突然大杉が現れ、一本杉庵の巨大な大師像が目に入る。十二番札所『焼山寺』の山門周辺の杉並木は、まさに深山幽谷のたたずまいである。

距離	15.6 km	所要時間	7時間30分
体力レベル	長い山道や急な登降、滑りやすい不安定な場所を歩ける体力が必要。	技術レベル	登降が激しく、足場が悪い場所に対応できる技術が必要。
スタート地点までのアクセス	最寄り駅・バス停		
国道192号を經由して『藤井寺』へ。  エスケープルート有 (MAP参照)	◎START地点 鉄道 — バス 徳島バス『鴨島』から徒歩約30分 ◎GOAL地点 鉄道 — バス —		



焼山寺の門に続く道から望む山の峰々



落ち葉で滑らないよう注意



「吉野川市」の看板が見えたら脇道へ



石積みの坂を上がっていく



歩幅を調整しながら慎重に登る



藤井寺からいくつもの「遍路ころかし」に上られる難所を通り、一本杉・杉並木・焼山寺・徳島三郎杖杉庵を巡るコース。険しい道だが歴史と天然記念物を楽しみ、空海の足跡をたどる趣きの道。
 藤井寺～長戸庵～柳水庵～一本杉庵～焼山寺
 藤の群生～徳島三郎杖杉庵～鍋岩
 徳島三郎杖杉庵～焼山寺

焼山寺山峡の遍路みち

6

首冠

ウォーキングガイド

歩くときの準備について

- ・体力に合うコースを選び、行き帰りの交通手段も調べて余裕のある日程を組もう。
- ・体力や山登りの技術に自信がない方は、一部分のみを選んで歩く方法もある。
- ・天気予報に注意し、悪天候が予想される場合は無理をせず予定を変更しよう。
- ・気温に合った防寒着や、急な天候の変化に備える雨具を忘れずに。

野山を歩くときのマナー

- ・空きカンやゴミは投げ捨てたりせず、ゴミ袋に入れて持ち帰ろう。
- ・山火事の原因となるタバコの投げ捨てや焚き火は絶対にやめよう。
- ・果樹園や農園の農作物、野生動物を傷つけたり取ったりするのはやめよう。

危険な動植物にご注意を

- ・山道には人間に危害を及ぼす生き物がいる。ハチやマムシ、マダニに注意を。

問い合わせ先

徳島県 グリーン社会推進課 088-621-2263
 吉野川市 商工観光課 0883-22-2226
 神山町 産業観光課 088-676-1118



コース内には案内板、道順を示す標識、文化財などの解説板、各所に休憩所を設置している。設備の破損や道の異常箇所に気付いた場合は上記の四国のみち担当課にご連絡を。

制作 2023.3

コース周辺の見どころ

MAP A 藤井寺



四国八十八ヶ所霊場十一番札所。寺の名前は、山門から納経所に向かう途中にある藤棚に由来する。弘法大師によって開基され、大師が42歳のとき諸人の厄除けを祈って刻まれたと伝えられている。

MAP B 柳水庵



藤井寺と焼山寺の間に位置する休憩所。かつて弘法大師がこの地を訪れたとき、のどの渇きを癒やすため柳の杖で岩を突くと水が湧き出たことから「柳の水」と呼ばれるようになったと言い伝えられている。

踏破認定写真 撮影ポイント

一本杉庵にある弘法大師像



踏破制度



MAP C 一本杉庵



標高730mの峠にあり、境内には弘法大師像や弘法大師巡教の際の伝説を伝える杉の名木がある。杉の幹囲は7.7m、樹冠は東西16.1m・南北14.8m、高さ約25mに及び、県指定天然記念物にもなっている。

MAP D 焼山寺

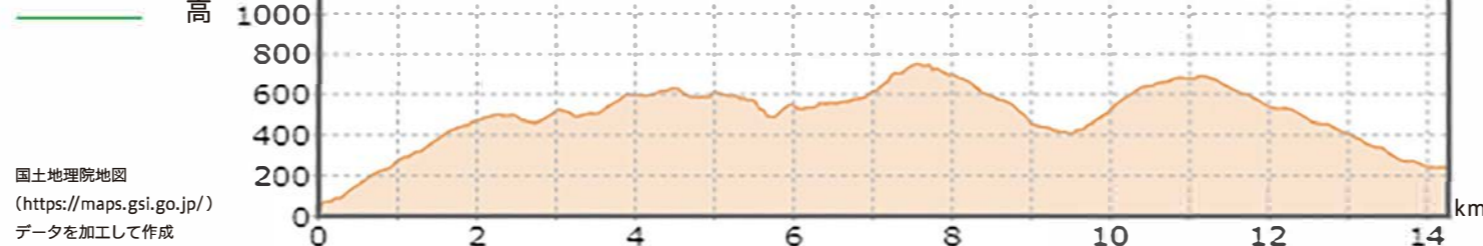


四国八十八ヶ所霊場十二番札所。焼山寺山の中腹標高700mにあり、古来より四国霊場の難所といわれる。寺は杉の老樹で囲まれ、本堂から奥の院に至る参道には約100本の巨杉が茂る。

里程表



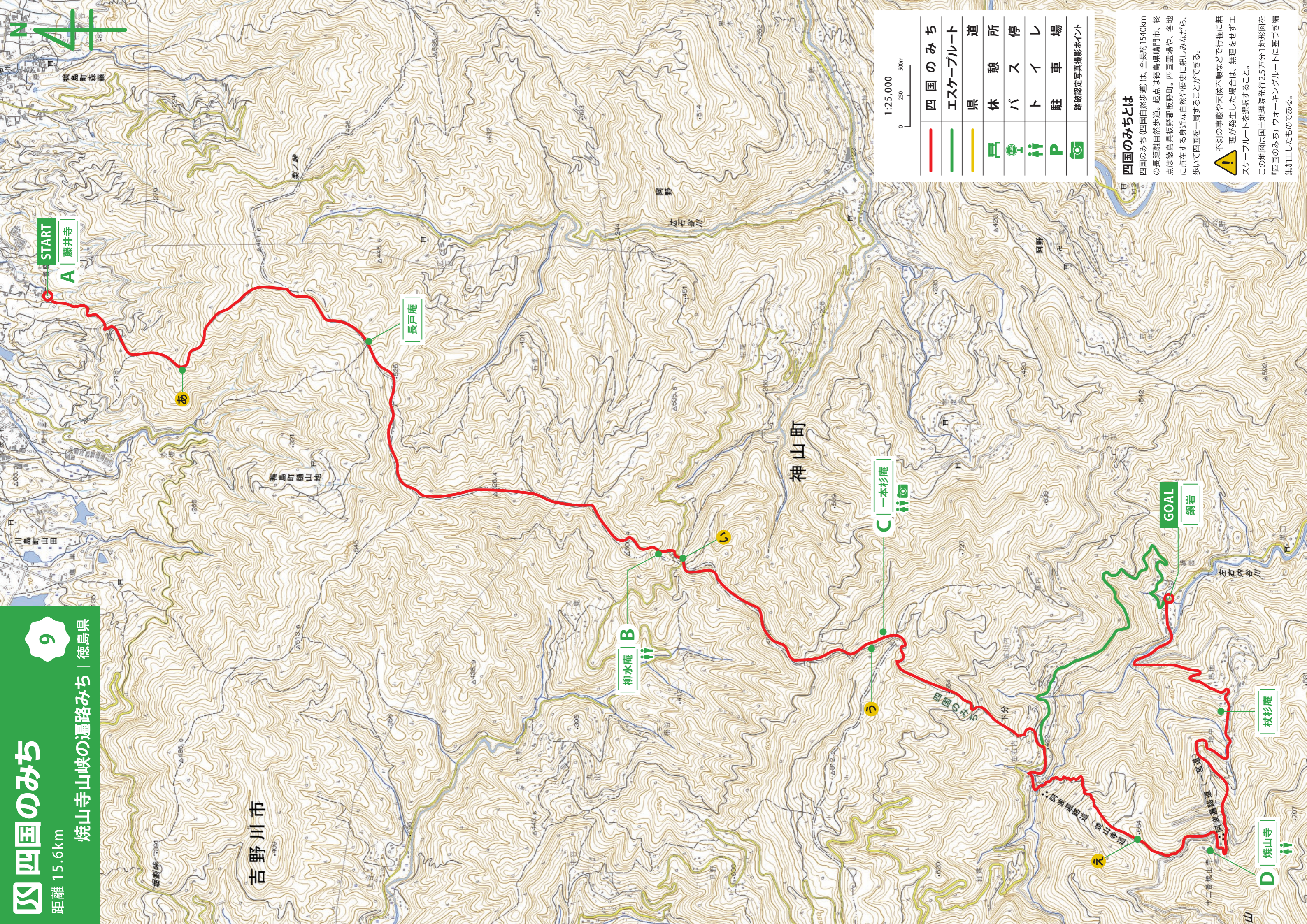
高低差表



四国のみち

距離 15.6km

焼山寺山峡の遍路みち | 徳島県



START
A 藤井寺

長戸庵

B 柳水庵

C 一本杉庵

GOAL
鍋岩

D 焼山寺

杖杉庵

1:25,000
0 250 500m

	四国のみち
	エスケープルート
	県道
	休憩所
	バス停
	トイレ
	駐車場
	踏破認定写真撮影ポイント

四国のみちとは

四国のみち(四国自然歩道)は、全長約1540kmの長距離自然歩道。起点は徳島県鳴門市。終点は徳島県坂野郡坂野町。四国霊場や、各地に点在する身近な自然や歴史に親しみながら、歩いて四国を一周することができる。

不測の事態や天候不順などで行程に無理が発生した場合、無理をせずエスケープルートを選択すること。

この地図は国土地理院発行2.5万分1地形図を『四国のみち』ウォーキングルートに基づき編集加工したものである。